１年言語と文学（MYP２ Language and literature）【国語：４単位】

科目のねらい

- 言語を、思考、創造性、振り返り、学習、自己表現、分析、および社会的な相互作用の手段として利用する。
- さまざまな文脈で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、見ること、発表することに関わるスキルを身につける。
- 文学および非文学のテクストを学習し分析することへの、批判的で創造的で個人的なアプローチを探究する。
- 歴史上のいろいろな時代とさまざまな文化のテクストに取り組む。
- 文学および非文学のテクストを通して、自分の国や学校所在地の文化、その他の文化を探究し、分析する。
- 多様なメディアや伝達様式（モード）を通して言語を探究する。
- 生涯にわたる読書への関心を育む。
- 実際のさまざまな文脈の中で、言語的・文学的な概念とスキルを応用する。

目標および評価規準

MYP評価観点	
A:分析	ｉ）テクストの内容、文脈、構造、技法、およびスタイル（文体）と、複数のテクスト間の関係性を特定し説明する。
	ii）作者の選択が、受け手に与える効果を特定し説明する。
	iii）例、説明、用語を用いて、意見や考えを正当化する。
	iv）ジャンルやテクストにおいて、または複数のジャンルやテクストにわたって、特徴の類似点と相違点を解釈する。
B:構成	ｉ）文脈と意図に応じた組織的構造を使用する。
	ii）意見や考えを、持続的で一貫性のある、論理的な方法で整理する。
	iii）執筆のフォーマットを利用して、文脈と意図に適した体裁を作成する。
C:創作	ｉ）創造的プロセスへの個人的な関わりから生じる新しいものの見方や考え方を探究し検討しながら、思考、想像力、感受性を示すテクストを創作する。
	ii）言語的、文学的、視覚的な表現の観点から、受け手に与える影響を認識したスタイル（文体）を選択する。
	iii）アイデアを発展させるために、関連する詳細情報と実例を選び出す。
D:言語の使用	ｉ）適切で多様な語彙、構文、表現形式を利用する。
	ii）適切な言語使用域（レジスター）とスタイル（文体）で書き、話す。
	iii）正しい文法、統語法、句読法を用いる。
	iv）正確に綴り（アルファベット言語）、書き（文字言語）、発音する。
	v）適切な非言語的コミュニケーション技法を利用する。

年間計画

時期 前・後	Unit No.	重要概念	関連概念	グローバルな文脈	ATLスキル	総括的評価課題	評価規準（ストランドまで書く）
前	1	創造性	自己表現 テーマ	アイデンティティと関係性	情報リテラシースキル 創造的思考スキル	詩	C(ｉ),(ii),(iii) D(ｉ),(ii),(iii),(iv),(v)
前	2	つながり	スタイル 受け手側の受容	個人的な表現と文化的な表現	コミュニケーションスキル 思考スキル	意見文	A(ｉ),(ii),(iii),(iv) B(ｉ),(ii),(iii)
後	3	つながり	構造	空間的時間的位置づけ	創造的思考スキル 管理調整スキル	企画書	A(ｉ),(ii),(iii),(iv) B(ｉ),(ii),(iii)
後	4	ものの見方	登場人物 テーマ 受け手側の受容	個人的な表現と文化的な表現	コミュニケーションスキル 思考スキル	選評 プロセスジャーナル プレゼン	C(ｉ),(ii),(iii) D(ｉ),(ii),(iii),(iv),(v)
後	EX	習字（このユニットは評価対象ではありません）					